

2009年7月20日：長野蓼科横谷溪谷。霧降りの滝から王滝まで谷川沿いの、ほとんどが木陰となつて続く散策路をたどる中、唯一コンクリートの坂道となつたところで新鮮なスジボソヤマキチョウみに出会い、横谷峡最初の記録種としてネットにおさめる。やや明るい空間にニワトコ



July 20, 2009 蓼科横谷峡谷  
スジボソヤマキチョウみ



の赤い実が目立つのでついついカメラをむける。王滝手前の湿地にコチャバネセセリが多く、ヒメキマダラセセリも緑の葉っぱ上で開翅姿勢をみせてくれる。いま少しチョウタイムがとれるので車に戻って、大門街道との交差点で白樺湖からは遠ざかることになる左奥方面へと走ってみる。勾配をさげて続く広い道が大きく左にカーブするコーナーに東大門林道の入口がみえ、迷わずここに車をとめる。いきなり大きなオレンジが濃いヒョウモンチョウとキタキチョウが



飛ぶ。ヒョウモンチョウはすばやく飛び交うため、すぐには種の特定ができないが、ネットインをして初めてメスグロヒョウモンのみだとわかる。木陰が続く林道奥には2頭でからむようにゆ

ったりと舞うアサギマダラもみえる。路傍のススキの類にはくすんだオレンジ色のセセリチョウが複数頭、追飛翔したり陽だまりの葉っぱ上に羽を広げてとまったりしている。ヒメキマダラセセリだ。適当なカメラアングルを探してシャッターを切る。いきなり紅色がきれいなイカリモンガ



もあらわれる。蛾のなかまでは羽をぴったりと閉じてとまる特異な存在だ。

2009年7月24日：伊吹山。山頂近くのシロツメクサを2頭のコチャバネセセリだとみえるセセリチョウが訪れており、やがてそのうちの1頭が夢中で蜜を吸う個体にじゃれつくような飛翔を繰り返す。どうやら求愛行動のようで、その様子をじっくりビデオ撮影する。このセセリチョウはあとでスロー再生をしてはじめて、どうやらヒメキマダラセセリだったようだとなるが、セセリチョウのなかまは種の同定がとてもむずかしい。

